

Surprising
Ceramics.

日本ガイシ
NGK

いいミライを、つづろう。

セラミックスでミライの課題に答える日本ガイシ。
SF作家たちがつづる世界を、おどろきのセラミック技術で読み解けば、
なんだかありそうなミライが見えてくるかもしれません。

春、マザーレイクで

作・櫻木みわ
画・YOUCHAN

（あらすじ）

湖と友だちのモモが暮らしている島では、湖岸には風力発電の風車が、山の斜面には太陽光パネルが設置され、循環型の持続可能な生活が成り立っている。朝もモモも安全で快適な島の暮らしに不満はないが、島の外のことを教えてくれない先生に対して物足りなさも感じていた。独自に勉強をした二人は、外の世界は大きな（厄災）によって住める状況ではないことを知り、絶望する。しかし、この島と同じように厄災を引き延びた人々が何処かにいるはずだという希望を持つ。



もしもサステナブルな暮らしを
自動制御できるなら？

いまマザーレイクの湖面を行きかうのは、島に
五そうある自動運転のAI漁船だ。AI漁船は
高性能のGPSと魚群探知機を搭載し、太陽光
で推進する。毎朝はやくに漁に行き、決まった分
だけの漁をして、水質調査のための湖水を採取
して帰って来る。朝の九時に、水処理センターの
ひとがその水を回収していく。

ぼくも船に乗ってみたい。水しびきを立てな
がら湖面をすすみ、居住棟がひしめくぼくらの
島を遠くからながめたり、みずうみのずっと端
の端まで行って、島からはみえないほうの対岸
をみに行ったりしてみたい。ぼくは漁船をみる
のがすきだけど、船をみながら考えるのはいつも
そのこと……。

日本SF作家クラブ編『2084年のSF』（早川書房）収録

小説設定確認：日本SF作家クラブ

©2022 Miwa Sakuraki ©YOUCHAN

ミライをつくるセラミックス ②

次世代半導体複合ウエハー

高性能なGPSと魚群探知機を搭載し、持続可能な漁獲量を自主的に判断する高次元AI漁船には、衛星ネットワークを利用した超高速無線通信が欠かせないはず。そうした次世代通信ネットワーク用の高周波デバイスを実現するのが「次世代半導体複合ウエハー」。このウエハーがあれば、持続可能な未来に貢献するデバイスがいずれ生まれるかも！

ミライをつくるセラミックス ①

電力貯蔵用NAS®電池

湖に浮かぶ島という環境で、再生可能エネルギーだけで持続可能な生活を送るには、エネルギーの安定供給に役立つ蓄電池が欠かせないはず。「NAS電池」は世界で初めて実用化された、再エネの安定化に役立つ大容量蓄電システム。この蓄電池が普及すれば、自然エネルギーだけで地球上の電力を賄える未来も夢じゃない！



©NGK-kero/dwarf

